



まだ誰も知らない安心を、ともに。

〒150-8488 東京都渋谷区恵比寿 1-28-1  
www.aioinissaydowa.co.jp

## ウズベキスタン共和国で日本発のテレマティクス技術を社会実装

2026年3月13日

MS & ADインシュアランスグループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社（代表取締役社長：新納啓介）は、ウズベキスタン共和国（以下、ウズベキスタン）において、テレマティクス技術を軸とした課題解決型ビジネスの確立に向け、政府関係機関および現地自動車メーカーを含む官民タスクフォースを2026年1月に設立しました。

官民タスクフォースでの検討を踏まえ、現地自動車メーカーによるテレマティクスデバイスの販売や、テレマティクス技術を活用したサービスを一元管理できるプラットフォームの構築を目指します。

### 1. 背景

当社は、テレマティクス自動車保険のノウハウ等を活用し、交通事故削減などの地域課題の解決を目指す「SAFE TOWN DRIVE」を2024年度より国内で展開しています。

一方、ウズベキスタンでは、経済成長や都市化の進展に伴い、自動車保有台数の急増に起因する交通事故の多発が深刻な社会課題として顕在化しています。こうした状況は、日本においても過去の経済発展の過程で直面してきた課題の一つであり、日本で得た教訓を踏まえ、当社独自のテレマティクス技術による海外展開の検討を開始しました。

その一環として、今後顕在化が懸念される都市渋滞や大気汚染といった課題を未然に回避すべく、ウズベキスタンにてテレマティクス技術を活用した交通安全に関する実証実験を実施しました。その結果、運転挙動の可視化やドライバーの行動変容の促進、蓄積された自動車走行データの活用など、テレマティクス技術が持つ様々な長がウズベキスタンでも効果があることが証明され、ウズベキスタン政府より高い評価を受けました。

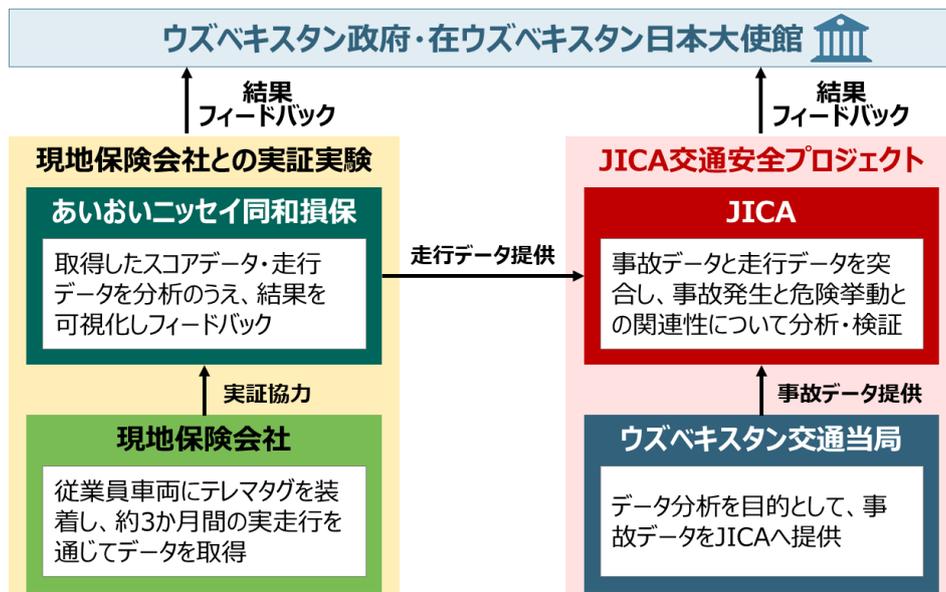
そこで今般、ウズベキスタン経済財務省およびデジタル技術省と覚書（MOU）を締結しました。また、政府関係機関および現地自動車メーカーを含む官民タスクフォースを設立し、国家プロジェクトとして推進するための具体的なビジネスモデル検討や将来的な社会実装に向けた協議を開始しました。

### 2. 実証実験について

#### （1）概要

2025年8月から10月までに、ウズベキスタン政府、現地損害保険会社、独立行政法人国際協力機構（以下、JICA）と連携し、テレマティクス技術を活用した交通安全に関する実証実験を実施しました。

現地保険会社従業員が所有する自動車にテレマティクスデバイスを取り付け、走行データを収集し、運転改善効果を測定しました。また、そのデータをJICAに提供することで、走行データと事故データの相関性に関する研究を行いました。



## (2) 実証実験の結果

当社のテレマティクス技術は、ウズベキスタンにおいてもドライバーの運転行動改善への効果が確認でき、自動車走行データの収集・分析により、ヒヤリハットの兆候や高リスク地点の特定に向けた知見も得られました。また、JICA からは、交通事故データと走行データを組み合わせて分析することで、交通安全の取組を従来の「事故対応型」から「事故予防型」へと発展できる可能性があるとして評価されました。

## 3. 官民タスクフォースにおける検討内容

デバイスの販売	<ul style="list-style-type: none"> <li>当社が流通、調達、販売代理、保証対応等を担う商社機能を発揮し、現地自動車メーカーを通じた新車、中古車などへのテレマティクスデバイスの装着・販売</li> </ul>
テレマサービスが一元管理できるプラットフォームの構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>現地スタートアップ企業と連携し、テレマティクス技術を活用した様々なサービスを一元管理できるプラットフォームを構築</li> <li>当社が日本で取り組んでいる「SAFE TOWN DRIVE」で培ってきた知見を活かし、安全運転を負担や義務として捉えるのではなく、楽しく取り組める体験価値へとつなげる</li> </ul>
データ利活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>膨大な走行データを収集し、交通事故低減コンサルや道路補修 DX 等、走行データを活用したサービスの企画・展開</li> </ul>



## 4. 今後の展開

テレマティクス技術の社会実装に向けた具体的な制度設計へ移行し、交通事故の防止を通じた人的・物的被害の抑制や、医療費・修理費・交通渋滞等に伴う経済的損失の低減を図ります。また、都市の持続的な発展や人・物流の円滑化を支えるインフラ基盤の強化を通じ、ウズベキスタンの中長期的な経済発展に貢献します。

当社は今後も、国内外で SAFE TOWN DRIVE を通じた社会課題解決に取り組み、「事故のない安全・安心な社会」の実現に貢献していきます。

以上

当社は、社会との共通価値を創造し、目指す社会像である「レジリエントでサステナブルな社会」を実現するため、SDGs（持続可能な開発目標）を道しるべとし、地域の皆さまに貢献する活動を行ってまいります。



あいおいニッセイ同和損保は、「CSV×DX を通じて、お客さま・地域・社会の未来を支えつづける」ことを目指しています。最先端・独自の技術やデジタル・データの活用、特色あるパートナーとの協業により、お客さま・地域・社会が真に求める新たな価値を提供していきます。また、国内外のあらゆる事業を通じて、お客さま・地域・社会とともに社会・地域課題の解決にグローバルに取り組めます。

